「希望の林業」に向かって。未来を紡ぐ木材加工工場

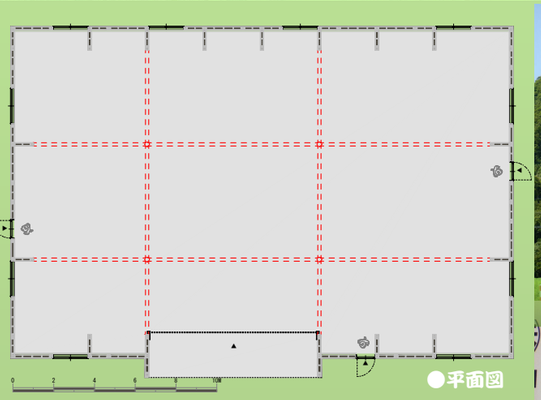
●森林を守るということはどういうことなのか？
いろんなところで問われているが、従事者にとっては先が見えてこない。
もっと強い意志と環境教育の実践に期待がかかる。
恵まれた森林を守るというのは、国民ひとりひとりが国内産業をささえている。とも言える。

●配置図兼用

●「グーグルマップ」より掲載

5年後

●「グーグルマップ」より掲載



●平面図

●立面図

●自然は中立である。ひとのためばかりにあるのではない。バランスをとること。

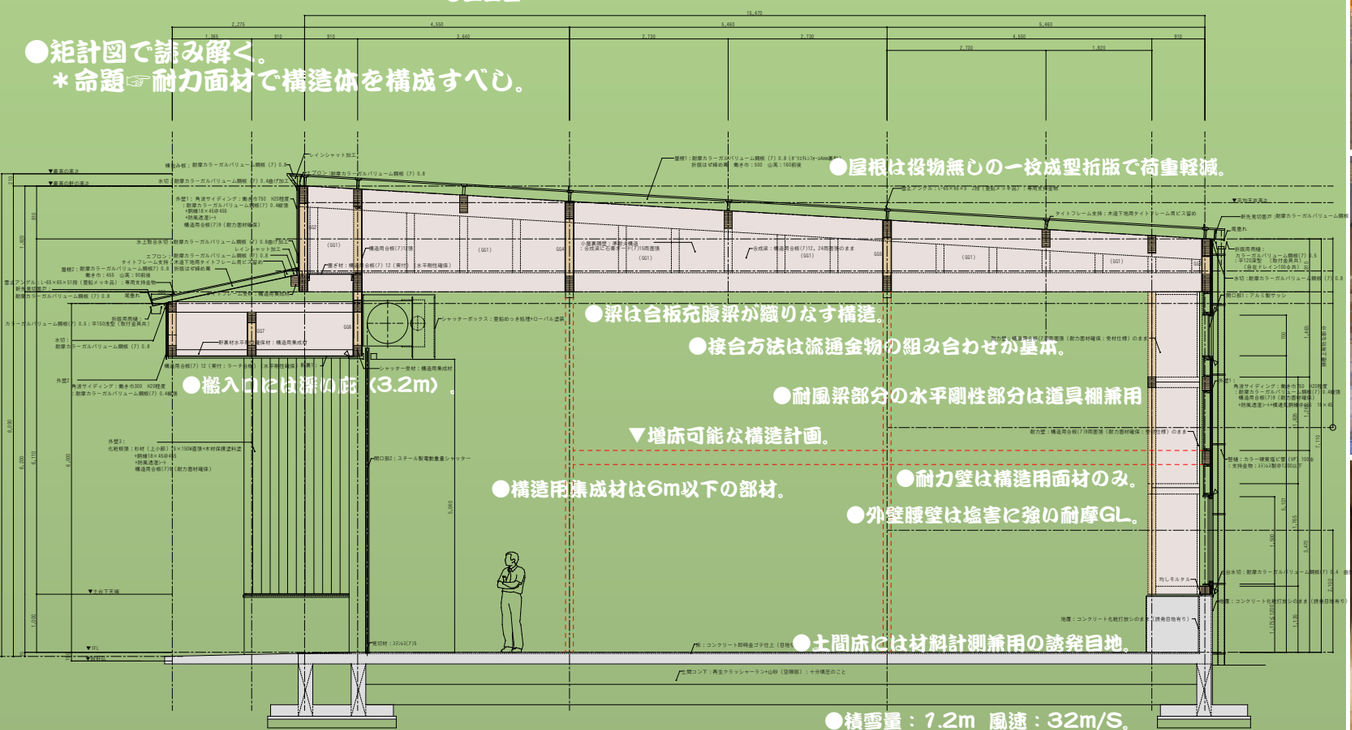
●間伐が手間がかかるから構わず皆伐をする。そこには環境を慈しみ、守ろうとする想いは見られない。

●森林を守るということはどういうことなのか？

●京都北山地区でさえ荒廃がおきている。

●人工林（杉）が見守る町並み（金山町）

●矩計図で謎み解く。
＊命題☞耐力面材で構造体を構成すべし。



●屋根は役物無しの一枚成型折版で荷重軽減。

●梁は合板充腹梁が織りなす構造。

●接合方法は流通金物の組み合わせが基本。

●搬入口には扉の跡（3.2m）。

●耐風梁部分の水平剛性部分は道具棚兼用

▼増床可能な構造計画。

●構造用集成材は6m以下の部材。

●耐力壁は構造用面材のみ。

●外壁腰壁は塩害に強い耐摩GL。

●土間床には材料計測兼用の誘発目地。

●積雪量：1.2m　風速：32m/S。

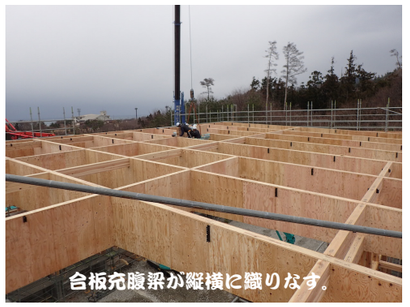
工場は合理的に作業が行える機能空間。
そこには必然的な構造デザインが生まれる。

林業に携わるひとたちの想い。その林業を見守り続ける施設が生きている。

林業には未来はあるということ。世の中に問いかけ続けたい。「建物」という力を借りて。

合板充腹梁の骨組。

骨組に構造用合板を釘止めで形成される合板充腹梁（地組）



合板充腹梁が縦横に織りなす。

必要最低限の内部空場。

●環境教育への課題・技能者養成への課題・自然災害の対策・創エネルギーへの課題など、まだまだ課題山積状態から抜け出せない。川上・川中・川下に従事するひとたちが出来ることは何だろう。

●「大地と共に生きる力」を少しでも身につけるべき。キャンプの人気は何を示しているのかわからないが、自然を大切にするという「正しさ」への同調圧力ではないことと捉えたい。

骨組に止める構造用合板は厚さに適合した釘仕様・間隔で支持される。

築5年後の様子。「山形県沖地震」（2019）での被害は無かった。

柱はプレート使用の石場建。

合板充腹梁の仕口はプレート使用。